

ほんとに最後！

浜松市障がい者基幹相談支援センター ランチ研修会！！



基幹相談が開設された平成30年度、各相談員がそれぞれの経験や知識を内部で共有し、自己研鑽するために内部研修を始めました。その後内部研修は、地域の相談員の皆様にも自由に参加いただける「ランチ研修会」に形を変えて行ってきました。

昨年度で最後と思われたランチ研修ですが、前年度の担当者から引継ぎ新担当で今年度も開催します。コロナ禍での開催となりますので、参加方法はZOOMのみとさせていただきます。皆様のお昼休憩中、お食事を摂りながらお気軽にご参加ください。

日時《担当》

研修テーマ



「浜松市障がい者ひとり暮らし体験支援事業事例報告」

9月1日(木) 12:00～
《大軒》

地域生活拠点等の整備の一環として、親元からの自立や成果病院からの退院、入所施設等からの退所に当たり、一人暮らしによる地域での生活への移行を希望する障がい者に対し、ひとり暮らしに向けた宿泊体験の場の提供を令和2年度よりモデル的に実施。令和3年度からは正式な事業として2年目を迎える。今回は実際に本事業を利用したケースについて事例報告し、各相談員の本事業活用イメージを具体化していただく。

「精神障がい者の生活を支える社会資源の活用」

10月6日(木) 12:00～
《山下》

精神障がい者が地域生活を送るうえで活用できる社会資源には様々なものがあります。中でも精神科デイケアや精神科訪問看護、訪問型・宿泊型自立訓練などをどのように活用し、関係機関とどのように連携を図っていけば効果的な支援体制となるかについて事例を通して考えます。

「見立てのポイント～成育歴から何を読み解くか～」

11月17日(木) 12:00
～
《岸》

日々の支援において、どのようなことを根拠として、支援を組み立てているのでしょうか？相談支援の土台となる見立てをするにあたって、成育歴、本人の生きてきた過程をストーリーとして捉えることは非常に重要な要素となります。今回は、見立てのポイントとして、成育歴を見ていく上での必要な視点を考えたいと思います。

「貧困ビジネスを考える」

12月1日(木) 12:00～
《玉澤》

「貧困ビジネス」という言葉を新聞やニュース等で聞いたことがある方も多いと思います。湯浅誠氏の定義によれば「貧困層をターゲットにしている、かつ貧困からの脱却に資することなく、貧困を固定化するビジネス」のことを指すとしています。今回は、無料低額宿泊所を例に考えていきたいと思います。

「ファミリーソーシャルワークの視点」～多様な課題を抱える子ども家庭への支援から～子ども自身の様々な課題に対して対応してくれる機関は年々増え熱心な取り組みが行われています。しかし、一方で、その背景にある複雑多義に渡る家族・家庭の課題への対応はなかなか進まないのが実際ではないでしょうか。子どもと家族・家庭の課題を一体的に捉え支援を行うファミリーソーシャルワークの視点について考えてみたいと思います。

1月5日(木) 12:00～
《雨宮》

申込方法

- ・QRコードを読み取っていただき、必要事項を入力ください。
(URL: <https://forms.gle/d6f3NPiHs9m4pfrW7>)
- ・研修資料及びZOOM ID等は、入力いただいたメールアドレスへ事前にお送りいたします。

《申込はこちら》



浜松市障がい者基幹相談支援センター
ご連絡先 TEL:053-401-0920 担当:大軒